

地下鉄短信(第231号) 平成28年3月30日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事1.「平成28年度エコレールラインプロジェクト事業説明会」の開催

1.「平成28年度エコレールラインプロジェクト事業説明会」の開催

平成28年度エコレールラインプロジェクト事業の説明会を3月24日(木)にエッサム神田ホール会議室で開催し、14地下鉄事業者、27名が参加しました。

従来、エコレールラインプロジェクト事業は、「低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援事業」を主幹事業とする支援事業の一つとして、省電力化・低炭素化に計画的に取り組む鉄・軌道事業者を支援する目的で事業費の1/3を補助する事業でしたが、今般、社会状況も大きく変化しており、社会ストックを再構築する時期でもあるため、平成28年度より、主幹事業名称を、公共性や社会的ニーズが高く、2050年にCO2の80%削減に向けて抜本的な再構築が必要とされる社会ストックについて支援する「省CO2型社会の構築に向けた社会ストック対策支援事業」に変更します。

これに伴い、エコレールラインプロジェクト事業の補助対象となる設備等について変更が生じます。なお、基金補助事業者は、従来と同様に「一般社団法人 低炭素社会創出促進協会」であり、事業費の補助率1/3に変更はありません。



そこで4年目となる本説明会においては、国土交通省鉄道局 大島輸送障害対策推進官及び都市鉄道政策課 西村指導係長を講師に迎え、公募のスケジュールや補助対象の見直し内容等について、説明いただくとともに参加事業者からの質問等について、回答していただきました。

平成28年度の公募スケジュールは、昨年と同様な時期を予定しており、補助対象設備の見直しでは、鉄道に特化した先進的な機器及び高効率照明の導入等について補助の対象とし、従来補助対象であった太陽光パネル、空調設備、エレベータ、エスカレータ等の鉄道に特化しない汎用設備は、補助対象から外れたほか、車両では、中小鉄軌道事業者を除き、SiC等次世代半導体以外の半導体を使用したVVVF制御装置の更新等は、先進的な機器の導入とは言えないことから補助対象から外れるとの説明がありました。

一方、鉄・軌道事業者からは、「先進的な機器」かどうかの判断基準について及び、公募、採択、交付決定、年度の事業完了時期等、事業スケジュールに関する多くの質問があり、講師から丁寧な回答を頂き、終了いたしました。



平成 28 年度「児童福祉週間」の標語

【入選作品】

未来への トビラはいつも そこにある (小嶺^{こみね} 春心^{うらら} 9歳 長崎県)

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp